

新らしい将軍山会旗と共に!!

51年11月12日 大阪ロイヤルホテルで



将軍山会報

発行所
茨木市安威230
追手門学院大学同窓会
将軍山会
☎(0726-43 5421) 内線88
発行者
常任理事会議長 鶴 毅
© 1977
印刷所
内田印刷 K K

将軍山会旗もでき大学開学10周年

を祝っての総会は、11月12日の夕刻
ロイヤル・ホテルで開かれました。
今年に大学の恩師が、例年より多
数ご出席になり、また、東京からは
竹村健一先生も来会され、たのしい
一刻を過ごすことができました。

卒業記念品を贈る

52年3月25日に卒業した第8期の
新会員諸兄姉には、卒業式当日に
卒業証書を入れる黒塗りの筒を差し
上げました。これは大学院の修士課
程を修了された各氏にも、お贈りし
ました。

新会員諸姉兄に

4月から就職された方は、就職先
の会社・商社・事業所名や業種・職
種などを、本報3頁の表にならって
ハガキでお知らせ下さい。

諸兄姉の原簿に記入し、また勤務
先変更カードに記入してコンピュー
ターに記録させ、整理いたします。
ハガキの切りは8月31日まで。
お知らせがないときは「無職」と
なりますので、ぜひ、お知らせ願
います。

ます。

ラグビー部OB会

2月27日、大阪グランドホテルで
10周年祝賀会が開かれ、遠隔地から
50名近いOBが集り、顧問山口教授
を囲んで和やかに想い出話に花を
咲かせました。OB宮脇保氏より
当日の模様を記事にして頂いてい
ますが、紙面の都合で、次の号に掲載
いたします。
クラブ関係のOB会のニュースも
どしどし事務局へ送って下さい。

役員会開催報告

51年12月11日(土) 大成閣
役員会の親睦と忘年会を兼ねて行
いました。会費は自前持ちでしたが
たのしい会でした。
52年3月18日(金) オリンピア
決算書の審議・予算の検討などを
し、また将軍山会基金についても
その活用方法などについて慎重に討議
しましたが、結論はでてません。
52年4月10日(日) ロイヤルH
51年度決算について会計監査を行
いました。



鶴毅君 (常任理事会議長)
あいさつ



第13回 太 宰 治 賞 受 賞!!

宮 本 正 仁 氏 (45年・英米語学科卒)

——多忙の宮本氏にお願いして原稿を依頼——

追手門学院大学を卒業して七年が過ぎた。第一期生である。まだひと昔もたっていないのに とても遠く淡い思い出になってしまった。あの時代は自分にとっていったいどういう時代だったのかと考えてふと思いつく時 きまってその景光のそこかしこから 一種言いがたい恥かしさがゆらめきたってくる。なぜか恥かしい時代だったなあと思ってしまうのである。

前半の二年間は 私にとっては比較的平穏な時代であった。開学したばかりの 恐い先輩の一人もいない大学にもぐりこみ 俺は大学生だぞと小生意気なポーズをとっていたことを思い出す。大学生になったことで もう立派なおとなになってしまったような錯覚にとらわれていたのである。しよせん理屈すら稚拙な青二才の自分が 真新しいキャンパスの中をくわえ煙草で彷徨しているさまを思い描くと たちまち羞恥と悔恨に包み込まれてしまう。

大学内では 一期生入学と同時に 文化会 体育会入り乱れてさまざまなクラブが雨後の筍のように出来あがっていた。道場のない拳法部や柔道部 まともなグラウンドを持たない野球部やアメリカンフットボール部などであった。そして私は テニスコートのない硬式テニス部員であった。どのクラブも 一期生や二期生はそうした草創の苦勞を味わって一つの組織を造りあげてきたのである。(だからOB会などで彼らがとりわけえらそうな顔をしていても どうか堪忍してやってください)

学内にテニスコートが出来たのは三回生になった頃であったから 私たちは丸二年間 学外の他人のコートを借りて練習した。ラケットをかういでのジブシー生活だったというわけである。厳しい練習にはなく、それ以前の厳しい状況に愛想をつかして 一人去り二人去りしていったのは なにもテニス部にかぎったことではなかった。だからテニス部の草創のメンバーのうち それでも八人もが四年間を頑張り抜けたのは きっと「第一期生」であったか

らかも知れない。と同時に テニスコートのないテニス部員を二年間もやりきったのだから よほど馬鹿か よほどテニスを楽しんでいたかのどちらかであろう。そしてそれならば さぞかし強くなったであろう筈だったが 恥かしいことに私たち八人は決して強くならなかった。その伝統だけは 今もテニス部に脈々と受け継がれている。

三回生になってしばらくして 父が死んだ。父の死とともに家業も崩壊し 私たち一家は無一物となった。私と母は大東市の小さなアパートの一室に夜逃げ同様の格好で転がり込んだのである。もう大学生生活をつづけるどころではなくなってしまう。講義には減多に出席しない劣等生だったから 大学生生活に執着があったわけではないが あと二年なら何とか自力で卒業までこぎつけることができるかも知れないと思っ

た。私は学生課へ行き 事情を話して 授業料だけを払い他の諸々の費用を免除してもらえないかとかけあつた。その時どんな結論が出たのかは忘れたが 学生課の方がとても親切に相談のつてくれたことをおぼえて

ともあれ 私は後半の二年間 アルバイトにつぐアルバイトで学生生活をつづけたことになる。そしてそうまでして卒業しようとする心とは裏腹に 私は以前にも増して講義には出席しなくなっていた。学生でありながら 突如猥雑たる社会の汚濁にまみれ始めた私は 絶えず体の芯に重い疲れを宿しながら 昼めしをおどつてくれそうな友人を探して食堂への坂道をのぼっていくのだった。学校に来ればひたすらテニスばかりしていた。それはもうスポーツではなく 私にとっては酒や煙草と同義だった。たかが父の死と家業の崩壊で そうまで打ちのめされてしまった一時期の自分を思うと やはり恥かしいなと身をすくませてしま

う。

卒業を間近に控えた頃 そのしわよせはどつとやって来た。出席日数の不足と不勉強で 単位が大幅に足らなくなったのである。すでに私はある広告代理店への就職が内定していた。どういう手順でそうだったのか忘れたが とにかく追試を受けさせてもらうところまでこぎつけた。

恥かしい時代

宮本 輝



発行所
茨 木 市 安 威 2 3 0
追手門学院大学同窓会
将 軍 山 会
電 0726-43-5421 内線337
発 行 者
常任理事会議長 鶴 毅
© 1977
印 刷 所
内 田 印 刷 K K

山桜会 親団体 総会に

ご出席願います！

12月4日(日) 12時30分
追手門学院小学校・講堂

新学生会館に
〈屋内時計〉を寄贈

12月に竣工する豪華な学生会館内に デジタル時計その他——親時計と連動——を寄贈することに10月14日の常任理事会で決定して大学当局にその設置をお願いしました。

将軍山会・資金収支計算書

(収入の部)			
自 昭和51年 4 月 1 日 至 昭和52年 3 月31日 (単位円)			
科 目	予 算	決 算	差 異
終 身 会 費	6,450,000	7,680,000	△1,230,000
受 取 利 息	600,000	998,632	△398,632
前 受 金	7,700,000	7,695,000	75,000
預り金受入収入	0	800,000	△800,000
資金収入調整 a/c 前 期 末 前 受 金	△6,220,000	△6,220,000	0
前 年 度 繰 越 金	4,019,506	4,019,506	0
計	12,619,506	14,973,138	△2,353,632

(支出の部)			
人 件 費	80,000	78,450	1,550
会 報 印 刷 費	210,000	155,000	55,000
そ の 他 の 印 刷 費	250,000	247,731	2,269
通 信 ・ 交 通 費	1,200,000	937,542	262,458
消 耗 品 費	50,000	32,760	17,240
会 議 費	100,000	94,070	5,930
備 品 費	50,000	46,500	3,500
慶 弔 費	20,000	8,780	11,220
卒 業 記 念 品 代 費	100,000	100,000	0
雑 予 備 費	58,506	23,743	34,763
予 備 費	200,000	172,657	27,343
有価証券購入支出	0	6,000,000	△6,000,000
将軍山会基金積立 有価証券購入支出	10,000,000	4,000,000	6,000,000
未 払 金 支 払 支 出	0	15,700	△15,700
資金支出調整 a/c 未 払 金	0	△36,500	36,500
次 年 度 繰 越 金	301,000	3,096,705	△2,795,705
計	12,619,506	14,973,138	△2,353,632

昭和51年度 将軍山会貸借対照表

資産の部		昭和52年 3 月31日 (単位円)	
科 目		決 算	
現 金		12,699	
普通預金	三和銀行茨木西支店	907,808	
	住友銀行茨 木 支 店	1,046,767	
	大和銀行茨木西支店	1,129,431	
有 価 証 券		6,000,000	
将軍山会基金 積 立 預 金		284,499	
将軍山会基金 積 立 有 価 証 券		9,000,000	
計		18,381,204	

負債・基金・剰余金の部			
科 目		決 算	
前 受 金	金	7,695,000	
未 払 金	金	36,500	
預 り 金	金	800,000	
将 軍 山 会 基 金		9,284,499	
繰越 消 費 収 入 超 過 額		565,205	
計		18,381,204	

将軍山会・消費収支計算書

(収入の部)			
自 昭和51年 4 月 1 日 至 昭和52年 3 月31日 (単位円)			
科 目	予 算	決 算	差 異
終 身 会 費	6,450,000	7,680,000	△1,230,000
受 取 利 息	600,000	998,632	△398,632
当年度 消費支出超過額	5,268,506	0	5,268,506
計	12,318,506	8,678,632	3,639,874
当年度 消費収入超過額	0	2,781,399	△2,781,399
次年度 消費支出超過額	7,484,700	0	7,484,700
計	7,484,700	2,781,399	4,703,301

(支出の部)			
人 件 費	80,000	78,450	1,550
会 報 印 刷 費	210,000	155,000	55,000
そ の 他 の 印 刷 費	250,000	247,731	2,269
通 信 ・ 交 通 費	1,200,000	937,542	262,458
消 耗 品 費	50,000	32,760	17,240
会 議 費	100,000	94,070	5,930
備 品 費	50,000	46,500	3,500
慶 弔 費	20,000	8,780	11,220
卒 業 記 念 品 代 費	100,000	100,000	0
雑 予 備 費	58,506	23,743	34,763
予 備 費	200,000	172,657	27,343
将軍山会基金繰入	10,000,000	4,000,000	6,000,000
当年度 消費収入超過額	0	2,781,399	△2,781,399
計	12,318,506	8,678,632	3,639,874
前年度繰越 消費支出超過額	2,216,194	2,216,194	0
当年度 消費支出超過額	5,268,506		4,703,301
次年度繰越 消費収入超過額	0	565,205	
計	7,484,700	2,781,399	4,703,301

新会員に告ぐ

オール全追手門学院同窓会山桜会の会報や本報をお送りしている封筒の表に あなたの会員番号が記されています。今後住所など変更・改姓・勤務先の変更をはじめ あらゆるご連絡には 必ず会員番号を書き加えて下さい。お問合せやご連絡はハガキで!!

東京山桜会にも
ご参加下さい

封筒の裏に印刷してあります。東京山桜会に ぜひ将軍

山会会員も ご参加下さい。
来年度は
役員改選です
将軍山会の役員は 来年度改選です。その時には同期のクラス・クラブ・ゼミの世話役の会員をぜひ推薦して下さい。



本会報第9号(前号)で『恥しい時代』を寄稿して下さった第一期生宮本正仁(ペンネームは宮本輝)氏は 昨年の大宰治賞『泥の河』に続いて 第78回芥川賞を受賞された。既に会員のみなさんは 各新聞に かわしく報道されたので ご承知のことと思いますが 昨年の第77回の芥川賞を 本学院の同窓会員である三田誠広氏が『僕って何』で受賞し 二年連続して 同窓会員が受賞し

新聞記事に憤慨!!

本年1月27日の朝日新聞夕刊3版及び2月16日・毎日新聞の朝刊に補欠合格で金権入学させているとの内容の記事が掲載されました。その見出しは初号活字で 母校の名が大きく印刷されています。

ある同窓会員から 本会顧問あて

宮本 輝氏(45年・文英卒)

第78回 芥川賞受賞『蚩川』で



発行所
茨木市安威230
追手門学院大学同窓会
将軍山会
発行所
常任理事会議長 鶴 毅
© 1978
印刷所
内田印刷 KK

□選挙管理委員は

52年12月16日に決定した委員は次の5氏です。△敬称略・50音順▽

岸本 敏次(45・経)
口村 一郎(51・文)
中島 昌彦(49・経)
委員長 永谷 憲史(47・経)
松村 康弘(51・経)

□選挙方法は

第1次△候補者推薦▽と第2次△信任投票▽とにわけます。

□第1次△候補者推薦▽は

イ 大学学友会に登録されている文
化会・体育会など各クラブ・同好
会のOB会より会長名で推薦され
たもの。
ロ 各卒業期・各学科・各ゼミより
会員の推薦したもの。
ハ 会員の推薦したもの。

以上に限ります。今回は△自薦▽

役員会開催

昭和52年12月16日 午後6時より
本会役員会を開催。
1 役員改選に伴う選挙管理委員の選出

2 選挙方法について
3 その他 以上を
審議決定しました。
なお 選挙管理委員名および選挙方法などについては 左の記事をよくお読み下さい。

はあります。
第1次△候補者推薦▽の締切りは3月20日(月)まで 本紙の裏面の推薦用紙を使用して本会選挙管理委員会宛にお送り下さい。

□候補者一覧表を郵送

第1次の推薦候補者氏名一覧表を本会より 会員のみなさんに郵送いたします。予定は4月はじめです。

□OB会にお願い

今回の将軍山会新役員選出には かならずOB会より1名を推薦して下さい。推薦に当ってはOB会の名称・OB会の連絡先・電話・OB会会長名を明記して下さい。

□会員のみなさんへお願い

本会を昭和50年5月に再建してからはや3年の月日を経過しました。その間 再建に

将軍山会新役員選挙について

□第2次△信任投票▽は

会員のみなさんに次回お送りする新役員候補者一覧表と同形の投票用紙に ご返送下さる会員の会員番号ご氏名を明記し 選挙用封筒に入れご返送下さい。締切日などについては 次の機会に明示いたします。
この投票の結果は 5月に発行を予定している親団体の山校会報と共に お送り下さい。

追試は三科目であった。そのどれ一つを落としても私は卒業できないのである。二つの追試を何とかきりぬけて 最後の一つを受けた日は小雪まじりの寒い日であった。いまはすでに追大を退職された松井進平助教授の英語音声学である。あの暗号めいた発音記号がやたらと並んでいる問題は 私の頭脳の限界を少々越えていた。その追試を受けたのは私ともう一人の女学生だったが彼女は三十分程で答を書きあげると「お先に」といつて帰って行った。お先にはどうということか。お先に卒業することか などと考えているうちに時間が来てしまった。コートのを立てて身を屈めながら一号館と二号館の間の道を歩いてみると 松井先生が二階の自分の部屋から顔をのぞかせて私を呼んだ。「彼女はなかなか良く出来ていて文句なしに合格。君もなんとかきりぬけて六十点 合格だ」といわれた。そんな筈のないことは私が一番よく知っていた。そしてただひたすらありがたかった。ちょうど目の前に先生の車が止まっていたので 「この車 僕が洗ってあげましょうか」といった。先生はニヤッと笑い 「寒いから いいよ」と応えて窓をしめた。やれやれ ソバでも食うかと食堂への坂道をのぼっていきながら自分は今ずいぶん恥かしいことを口走ってしまったなと考えていた。そしてそんな私のポケットはからっぽで誰か友人にたかると以外 ソバ一杯食べることができないのであった。

“ラグビー”の話をしよう

宮脇 保匡

2月27日(日曜日)大阪グラントホテルにおいて 本当にやっとわが追大ラグビー部も10周年の祝賀パーティーを開くことができました。土曜の夜から 日曜の早朝から西に東に遠くにいた懐かしい顔が 昼過ぎ 大阪の街に帰って来ました。『オーノ 久しぶり 元気が、』ハイ 元気にやっています。少しばかりネクタイが 似合うようになつた先輩も 急に偉くなった感じのする後輩も みんながみなんな楽しそうに語り 笑い そして飲

む。山口三郎部長夫妻も 大勢の息子たちの中 終始顔をほころばせたいそう喜んでおられた。追大に数あるクラブの中 ラグビー部はいつも 先輩・後輩の人間としての 理想のつながりを大切にそして 多くの他のクラブの仲間たちと共に この10年の道程を歩んできました。時に泣き 時に怒り 時に苦しみ けれども 最後には笑って……。50名程のO・Bを前に 現役幹部も少し小さくなって それでも西村現主将が 今年にかける力強い抱負を述べ その中で 今までのO・Bの人がつくってくれた伝統を 大切に

私はその後 紆余曲折を経ていつしか小説を書くようになり 「泥の河」で第十三回大宰治賞を受賞し作家生活に入った。だが私はときおり自分の作品の行間に あの日卒業を許されてとばと坂道をのぼって行く 何やら恥かしい己れの姿を見えしもう時がある。小説を書くことは 恥かしいなと思う。恥かしくとも 坂道をのぼって 熱いソバにありつきたいと思う。そんなさもしい性癖をも 私は大学時代に身につけたのである。

追手門学院大学の第一回卒業生が社会人となつてはや八年になる。将軍山会会員も五千名余といった大きな組織になったが いまだにその存在すら知らない卒業生があるということを目にした。

小学校 中学校 高等学校 大学と各々同窓会の組織があり 卒業後何年かたったあとで一同に会し 昔話に花を咲かせ 楽しいひと時を過ごすというのが通例である。

しかし そこで考えなければならぬのが大学の同窓会である。他のものとは異なる点は 幼年時代 少年時代の友人が大人になってあつまるのではなく 青年というより大人同志のつきあひのできるものが 大学の同窓会であると思う。卒業後 人生論について語りあえるのも 仕事の上でのなやみ事など何でも話しあえるのが 大学時代の仲間であると思う。

昨年末より続いている大学新卒の就職難の問題についても 大学の就職課のご努力で解決できるものと信ずるものではあるが 大学の同窓会が 団結し この問題を考えればよりうまくゆくような気がしてならぬ足どりで散会した。

最後になりましたが せっかくの休日に わざわざ花束を持って駆け付け

将軍山会を見直そう

鶴

毅(常任理事会議長)

いまだに 各企業には学閥が存在すると聞く。この学閥が小学校・中学校 高等学校であるといったことは聞いたことがない。やはり大学である。

そこで 卒業生諸氏にお願いしたい。もう一度 追手門学院大学同窓会将軍山会を見直してほしい。われわれの母校追手門学院大学の将来を決めるのは 卒業生の団結であると思うし 現役の学生諸君に大きな夢をもたせ より良い社会人になるよう 影の力で指導するのも同窓会である。

他の名門大学が同窓会を開き 大きなホールをいっぱいにし 盛大にパーティーを開催したといった記事が 新聞に載ることがある。それを見て 追手門学院大学の同窓会もそうなくてはいいいつも将軍山会の理事の人達は考えている。

来年は将軍山会の現行役員の改選期に当たる。これを機会に今まで将軍山会なんて と思っていた人々の奮気に期待したい。将軍山を見直し おおいに参加 協力し 将軍山会を大きく育てようではないか。けてこられました将軍山会顧問の佐藤先生に 心よりお礼を申し上げます。

学長 天野利武先生ご退職へ3月31日▽

——新学長公選はじまる・2月28日には内定——

母校の学長・天野利武先生は昭和39年10月16日 追手門学院学院長として就任され 学院創立80周年記念事業の大学設置に尽力 將軍山の地に昭和41年4月 開学されてから今年まで12年。学院長時代を含めると13年の間 学院と大学の発展に

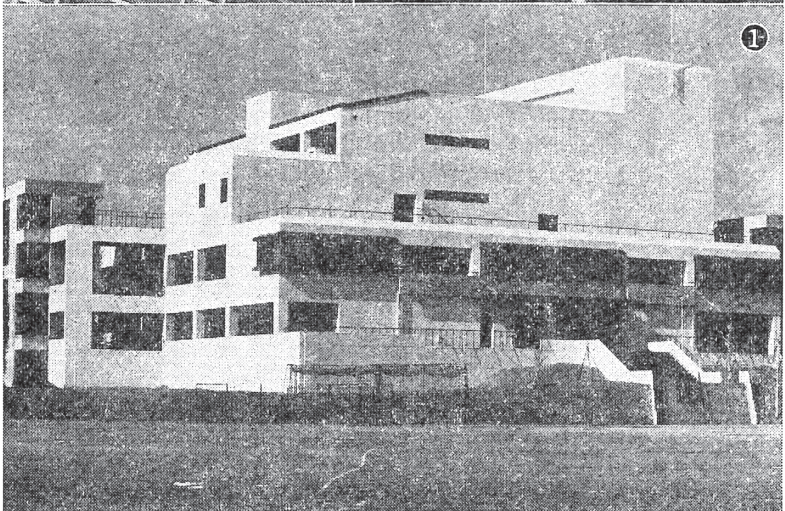
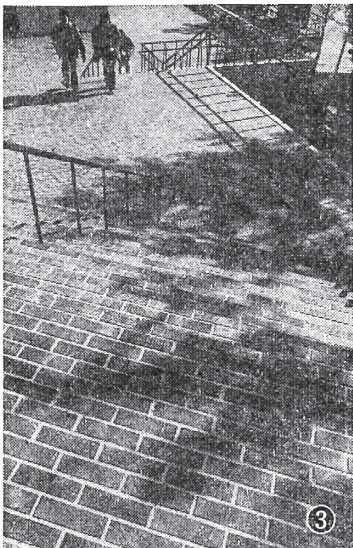
学院長の要職を去り 悠々自適して社会・国家のために余生を送りたいと申されております。

大学では昨年来検討され11月18日に決定した「学長選考規程」に従って 現在 第1次選挙と学生による除斥投票が終り 2月28日の第2次選挙によって新学長の公選が一段落して新学長が内定いたします。

次回 本会報には 新しい学長の挨拶が掲載されることでしょう。

学生会館竣工

- ①竣工式当日 上の時計は本会が寄贈
- ②茶室前へ登る道
- ③学生会館全景



(この裏を切り取ってご郵送ください)

將軍山会新役員候補推薦

被推薦会員氏名

() 氏

被推薦会員卒業年次・学部

年 学部卒

上記の会員を新役員として推薦いたします

〈OB会の場合〉

会 名	
会長名	
連絡先 と 電 話	

〈個人の場合〉

あなたの 氏 名	
会員番号	

3月20日必着で お送り下さい